## 平成28年2月の主な動き、取組

1 雇用失業情勢への対応(平成27年12月内容)

有効求人数31,268 人対前年同月比 13.3%増(16 か月連続の増加)有効求職者数31,761 人対前年同月比 1.4%減(68 か月連続の減少)有効求人倍率0.92 倍対前月 0.02 P 増

- 各種支援事業、求職者支援制度、各種助成金などの活用による就職促進
- 積極的な求人開拓の実施
- 若者、女性、障害者、高年齢者の就職実現
- 2 平成27年労働災害発生状況 (12月末速報値)

休業4日以上の死傷者数 1,581人 前年比14人(0.9%)増加

死亡者数 16人 前年比 5人( 24%)減少

・死傷災害の減少のために、関係団体との連携を図るとともに、県内5つの労働基準 監督署が2月に実施する建設業無災害運動月間説明会等において、労働災害防止対 策の徹底を指導する。

3 「医療分野の雇用の質の向上のための研修会」を開催

~働きやすく、働きがいのある職場づくりのために~

鹿屋市会場・・・2月3日(水) 鹿児島市会場・・・2月6日(土)

- 4 「大学生等就職面接会 in 鹿児島」を開催
  - ~学生と企業の出会いの場を提供~

2月22日に、鹿児島サンロイヤルホテルにおいて、就職面接会を開催

## 12月の有効求人倍率は0. 92倍で、 前月を0.02ポイント上回る

鹿児島県の 12 月の有効求人倍率(季節調整値)は 0.92 倍となり、前月(0.90 倍)を 0.02 ポイント上回りました。

新規求人倍率(季節調整値)は 1.44 倍と、過去最高となり、前月(1.40 倍)を 0.04 ポイント上回りました。 正社員有効求人倍率(原数値)は 0.63 倍となり、前年同月(0.51 倍)を 0.12 ポイント上回りました。 新規求人数は前年同月に比べ 12.4%増と 3 か月連続で上回りました。

産業別では、前年同月に比べ、建設業(10.2%増)は3か月連続の増加、製造業(5.5%増)は7か月連続の増加、運輸業、郵便業(21.3%増)は2月ぶりの増加、卸売業、小売業(19.6%増)は2か月ぶりの増加、宿泊業、飲食サービス業(35.8%増)は3か月連続の増加、医療、福祉(22.4%増)は2か月連続の増加、サービス業(11.7%減)は2か月ぶりの減少となりました。

新規求職者数は前年同月に比べ 4.1%減と2 か月ぶりの減少となりました。

新規常用求職者について態様別に前年同月比でみると、在職求職者(1.2%減)は4か月ぶりの減少、離職求職者(5.8%減)は2か月ぶりの減少、無業求職者(3.9%減)は3か月ぶりの減少となりました。

離職求職者の内訳では事業主都合離職者(4.2%減)は 2 か月ぶりの減少、自己都合離職者(5.1%減)は 2 か月ぶりの減少となりました。

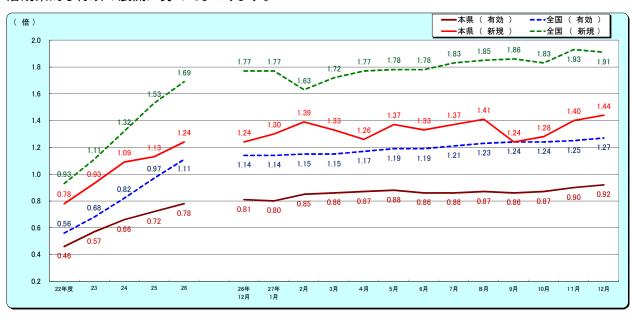
鹿児島県の平成 27 年平均の有効求人倍率は 0.87 倍と、前年(0.75 倍)を 0.12 ポイント上回りました。 平成 27 年平均の新規求人数は前年に比べ 8.2%増加し、新規求職者数は 4.0%減少しました。

平成 27 年平均の有効求人数は前年に比べ 9.4%増加し、有効求職者数は 5.1%減少しました。

政府の1月の月例経済報告では、生産を「このところ横ばいとなっている」と上方修正し、他を据え置き、 景気の基調判断を、「景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」と、 先月から据え置きました。

鹿児島県の雇用情勢は、有効求人倍率が24年4か月ぶりに0.92倍となり、新規求人倍率が過去最高となるなど、改善傾向にあり、全体としては企業の採用意欲は高いものの、産業ごとに増減にばらつきがみられることから、今後の求人・求職の動きには注視が必要と思われます。

鹿児島労働局では、現下の雇用情勢に適切に対応するため、若者・女性・障害者・高年齢者の就業実現、地域の実情を踏まえた公共職業訓練や求職者支援訓練の推進、就職困難者等すべての求職者の就労に向けた重層的なセーフティネットの構築による就労・生活支援対策に積極的に取り組み、今後とも一層効果的な行政の展開に努めてまいります。



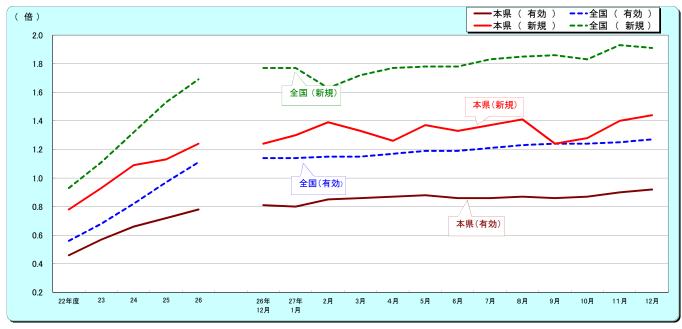
鹿児島労働局 職業安定部 職業安定課長 地方労働市場情報官 地頭 政 Tel. 099 ( 219 ) 8711

#### 最近の雇用失業情勢 ( 平成27年12月分 )

#### 概 況

- ・鹿児島県の12月の有効求人倍率(季節調整値)は<u>0.92倍</u>となり、前月を0.02ポイント上回った。 なお、全国の12月の有効求人倍率(季節調整値)は1.27倍となり、前月を0.02ポイント上回った。
- ・鹿児島県の平成27年平均の有効求人倍率は0.87倍となり、前年を0.12ポイント上回った。 なお、全国の平成27年平均の有効求人倍率は1.20倍となり、前年を0.11ポイント上回った。

#### 1. 求人倍率の推移(パートを含む、年度平均は原数値、各月は季節調整値)



		22年度	23	24	25	26	26年 12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効求人倍率	本県	0.46	0.57	0.66	0.72	0.78	0.81	0.80	0.85	0.86	0.87	0.88	0.86	0.86	0.87	0.86	0.87	0.90	0.92
有别水八倍平	全国	0.56	0.68	0.82	0.97	1.11	1.14	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21	1.23	1.24	1.24	1.25	1.27
新規求人倍率	本県	0.78	0.93	1.09	1.13	1.24	1.24	1.30	1.39	1.33	1.26	1.37	1.33	1.37	1.41	1.24	1.28	1.40	1.44
利况水八倍平	全国	0.93	1.11	1.32	1.53	1.69	1.77	1.77	1.63	1.72	1.77	1.78	1.78	1.83	1.85	1.86	1.83	1.93	1.91

\*26年12月以前の各月の季節調整値(下線部分)は季節調整値替済み

#### 2. 求人の動き(パートを含む、原数値)

12月の新規求人数(パートを含む、原数値)は、前年同月に比べ12.4 %増と3ヶ月連続の増加となった。

12月の新規求人数(同)を産業別に前年同月比でみると、【建設業】(10.2%増)は3ヶ月連続の増加、【製造業】(5.5%増) は7ヶ月連続の増加、【運輸業、郵便業】(21.3%増)は2ヶ月ぶりの増加、【卸売業、小売業】(19.6%増)は2ヶ月ぶりの増加、 【宿泊業、飲食サービス業】(35.8%増)は3ヶ月連続の増加、【医療、福祉】(22.4%増)は2ヶ月連続の増加、【サービス業】 (11.7%減)は2ヶ月ぶりの減少となった。

12月の有効求人数(パートを含む、原数値)は、前年同月に比べ13.3%増と16ヶ月連続の増加となった

( )内前年同月比(%)

	平成2	6年度				平成	27年		7 7 7 7 17	1+H1/1 KL(70)
新産業分類	(月平	区均 )	9)	月	10	月	11	月	12	2月
新規求人数	11,548	(3.4)	11,413	( <b>A</b> 3.6)	12,757	(2.9)	11,736	(11.8)	10,501	(12.4)
D 建設業	791	( <b>1</b> 1.1)	919	( <b>A</b> 6.3)	955	(15.5)	827	(22.7)	769	(10.2)
E 製造業	1,013	(0.6)	1,145	(5.8)	1,438	(29.4)	1,053	(23.3)	865	(5.5)
H 運輸業、郵便業	505	(1.4)	545	(24.1)	646	(12.3)	499	( <b>1</b> 4.7)	439	(21.3)
I 卸売業、小売業	2,011	(1.5)	1,910	( <b>1</b> 2.6)	2,272	(6.7)	2,035	( <b>A</b> 2.7)	1,616	(19.6)
M 宿泊業、飲食サー ビス業	930	( <b>A</b> 0.3)	800	( <b>A</b> 6.2)	942	(4.6)	1,082	(11.3)	873	(35.8)
P 医療、福祉	2,980	(7.2)	2,978	(5.7)	3,078	<b>(▲</b> 7.2)	2,946	(16.7)	3,099	(22.4)
R サービス業(他に分類されないもの)	1,523	(14.7)	1,128	( <b>A</b> 18.5)	1,686	(▲ 7.6)	1,453	(18.7)	1,187	( <b>1</b> 1.7)
有効求人数	29,493	(2.8)	31,098	(4.0)	32,290	(5.9)	32,021	(9.1)	31,268	(13.3)

3. 求職の動き(パートを含む、原数値。但し、※「うち34歳以下」と、※(新規常用求職者態様別内訳)は臨時・季節を除く常用。)

12月の**新規求職者数**(パートを含む、原数値)は、前年同月に比べ4.1%減と2ヶ月ぶりの減少となった。

新規常用求職者について態様別に前年同月比でみると、在職求職者(1.2%減)は4ヶ月ぶりの減少となった。 また、離職求職者(5.8%減)は2ヶ月ぶりの減少、無業求職者(3.9%減)は3ヶ月ぶりの減少となった。

離職求職者の内訳をみると、事業主都合離職者(4.2%減)は2ヶ月ぶりの減少となった。

**自己都合離職者**(5.1%減) は2ヶ月ぶりの減少となった。

12月の受給資格決定件数(1.8%減)は3ヶ月ぶりの減少となった。

また、受給者実人員(5.4%減)は33ヶ月連続の減少となった。

12月の有効求職者数(パートを含む、原数値)は、前年同月に比べ1.4%減と68ヶ月連続の減少となった。

(\_)内前年同月比(%)

	平成26	6年度				平成	27年			
	( 月平	均 )	9,	月	10	月	11	月	12	2月
新規求職者数	9,341	<b>(▲</b> 5.4)	9,218	(▲ 7.1)	8,944	( <b>△</b> 0.5)	7,281	(5.4)	6,087	( <b>A</b> 4.1)
44歳以下	5,688	<b>(▲</b> 7.2)	5,613	( <b>A</b> 8.9)	5,463	( <b>A</b> 1.2)	4,481	(5.8)	3,675	( <b>A</b> 6.8)
※うち34歳以下	3,638	( <b>A</b> 9.3)	3,468	( <b>A</b> 10.2)	3,485	(▲ 3.0)	2,884	(4.2)	2,304	( <b>A</b> 7.5)
45歳以上	3,653	( <b>A</b> 2.3)	3,605	( <b>A</b> 4.1)	3,481	(0.5)	2,800	(4.9)	2,412	(0.3)
うち55歳以上	2,033	(▲ 0.8)	2,001	( <b>A</b> 3.0)	1,894	(2.0)	1,571	(8.8)	1,350	(8.6)
雇用保険受給 資格決定件数	2,314	( <b>A</b> 4.4)	2,314	( <b>A</b> 8.9)	2,374	(4.4)	1,717	(6.3)	1,334	( <b>A</b> 1.8)
有効求職者数	37,705	( <b>A</b> 2.8)	36,009	<b>(▲</b> 7.2)	36,189	( <b>A</b> 4.8)	34,625	(▲ 1.9)	31,761	( <b>A</b> 1.4)
44歳以下	20,849	(▲ 8.0)	19,689	( <b>A</b> 8.4)	19,945	( <b>A</b> 5.2)	19,054	( <b>A</b> 2.1)	17,353	( <b>A</b> 1.8)
※うち34歳以下	13,109	( <b>A</b> 9.7)	12,235	( <b>A</b> 9.0)	12,348	( <b>A</b> 6.9)	11,860	( <b>A</b> 3.3)	10,823	( <b>A</b> 2.3)
45歳以上	16,856	( <b>A</b> 2.8)	16,320	( <b>△</b> 5.7)	16,244	( <b>A</b> 4.2)	15,571	( <b>A</b> 1.7)	14,408	( <b>1</b> .0)
うち55歳以上	9,977	( <b>A</b> 1.7)	9,901	( <b>A</b> 4.0)	9,736	(▲ 3.0)	9,346	( <b>△</b> 0.1)	8,659	(1.8)
雇用保険受給者 実人員	7,917	( <b>A</b> 6.7)	8,110	( <b>1</b> 0.4)	7,804	( <b>A</b> 9.3)	7,356	( <b>A</b> 2.1)	7,163	( <b>A</b> 5.4)

#### ※(新規常用求職者態様別内訳)

( )内前年同月比(%)

÷	4 ( )D   / 2   1   3 / 1   3	, , ,,, , , , , , , , , , , , , , , ,	1.4.50.0.	<u> </u>						. ,	11.37328(70)
		平成2	6年度				平成	27年			
		(月平	区均 )	9)	1	10	月	11.	月	12	月
¥	所規常用求職者	9,239	( <b>A</b> 5.6)	9,182	( <b>A</b> 6.6)	8,896	( <b>A</b> 0.6)	7,231	(5.6)	6,025	( <b>A</b> 4.2)
	在職求職者	2,326	(1.5)	2,321	(3.7)	2,279	(9.4)	1,940	(13.6)	1,793	( <b>1</b> .2)
	離職求職者	5,668	<b>(▲</b> 7.3)	5,635	( <b>A</b> 7.5)	5,440	( <b>A</b> 4.6)	4,342	(2.4)	3,497	( <b>A</b> 5.8)
	うち事業主都合	1,445	( <b>1</b> 2.4)	1,221	( <b>A</b> 18.2)	1,251	( <b>A</b> 6.0)	1,004	(4.6)	854	( <b>A</b> 4.2)
	うち自己都合	3,918	( <b>A</b> 4.6)	4,145	( <b>A</b> 3.7)	3,946	( <b>A</b> 2.9)	3,137	(2.3)	2,472	<b>(</b> ▲ 5.1)
	無業求職者	1,245	( <b>A</b> 9.6)	1,226	( <b>A</b> 18.0)	1,177	(0.7)	949	(5.2)	735	( <b>A</b> 3.9)

#### 4. 就職の動き(パートを含む。但し、※「うち34歳以下」は臨時・季節を除く常用。)

\_12月の**就職件数**(パートを含む)は、前年同月に比べ3.2%減と4ヶ月連続の減少となった。

( )内前年同月比(%)

		平成:	26度				平成	27年			
		( 月平	区均 )	9,	月	10	月	11	月	12	2月
恴	<b>北職件数</b>	3,759	( <b>A</b> 4.9)	3,563	( <b>1</b> 1.9)	3,799	<b>(▲</b> 3.7)	3,206	( <b>A</b> 1.0)	2,765	( <b>A</b> 3.2)
	44歳以下	249	( <b>A</b> 6.3)	2,244	( <b>1</b> 3.2)	2,392	<b>(</b> ▲ 5.3)	2,009	( <b>A</b> 2.0)	1,735	( <b>A</b> 4.2)
	※うち34歳以下	1,368	( <b>A</b> 7.9)	1,299	( <b>1</b> 1.2)	1,295	( <b>A</b> 9.9)	1,103	( <b>A</b> 6.5)	977	( <b>A</b> 1.7)
	45歳以上	1,362	( <b>A</b> 2.4)	1,319	( <b>A</b> 9.5)	1,407	(▲ 0.8)	1,197	(0.8)	1,030	( <b>A</b> 1.4)
	うち55歳以上	643	( <b>A</b> 2.9)	650	( <b>A</b> 6.9)	690	(1.8)	572	(3.6)	477	( <b>A</b> 2.5)
	雇用保険受給者	884	( <b>A</b> 2.3)	942	<b>(▲</b> 7.2)	978	(5.2)	826	(6.9)	667	( <b>A</b> 4.4)

#### 5. 完全失業率(全国)

	25年平均	26年平均	27年平均	平成27年7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率 ( % )	4.0	3.6	3.4	3.3	3.4	3.4	3.1	3.3	3.3
完全失業者数 ( 万人 )	265	236	222	222	225	227	208	209	204

※完全失業率は季節調整値 \*下線部分は季節調整替え済み

資料出所:総務省統計局「労働力調査」

## 正社員の職業紹介状況(原数値)

()内前年同月比(求人数、求職者数は%、その他はポイント)

		平成2	6年度				平成	27年			
		( 月平	平均 )	9)	Ħ	10	月	11	月	12	月
正社	員新規求人数	4,327	(2.7)	4,613	(3.7)	4,897	(6.7)	4,633	(22.2)	4,360	(16.3)
全新	規求人における 構成比	37.5%	(▲ 0.2)	40.4%	(2.8)	38.4%	(1.4)	39.5%	(3.4)	41.5%	(1.4)
	常用フルタイム 求職者数	6,253	(▲ 6.7)	6,029	(▲ 7.0)	5,998	(▲ 1.2)	4,796	(2.7)	4,135	(▲ 5.2)
全新規	見求職者における 構成比	66.9%	(▲ 1.0)	65.4%	(0.0)	67.1%	(▲ 0.4)	65.9%	(▲ 1.8)	67.9%	(8.0 ▲)
正社員	員新規求人倍率	0.69	(0.06)	0.77	(0.08)	0.82	(0.06)	0.97	(0.16)	1.05	(0.19)
正社	員有効求人数	11,578	(3.2)	12,473	(4.9)	12,704	(7.0)	12,896	(13.5)	12,838	(17.3)
全有3	効求人における 構成比	39.3%	(0.2)	40.1%	(0.3)	39.3%	(0.4)	40.3%	(1.6)	41.1%	(1.4)
	常用フルタイム 求職者数	24,884	(▲ 7.7)	23,312	(▲ 8.9)	23,391	(▲ 6.6)	22,239	(▲ 3.9)	20,439	( <b>A</b> 4.2)
全求	対職者における 構成比	66.0%	( <b>A</b> 1.4)	64.7%	(▲ 1.3)	64.6%	(▲ 1.3)	64.2%	( <b>1.4</b> )	64.4%	(▲ 1.8)
正社員	員有効求人倍率	0.47	(0.05)	0.54	(0.08)	0.54	(0.07)	0.58	(0.09)	0.63	(0.12)
	全 国	0.68	(0.10)	0.78	(0.09)	0.79	(0.09)	0.82	(0.10)	0.85	(0.10)

※常用フルタイム求職者・・・・パート及び4カ月未満の臨時を希望する求職者以外の求職者

#### 平成27年度 鹿児島労働局 安定所別 有効求人倍率(原数値)

※パートタイムを含む 様式3

安定	官所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	<u>イムを含む</u> 2月	<del>稼れる</del> 3月	年度計
<b>*</b> ID <b>*</b>	有効求職	15,635	15,507	15,388	14,627	14,061	14,180	14,482	13,917	12,766				117,797
鹿児島	有効求人	15.123	14,399	14,505	14,480	13,861	14.095	14.617	14,114	13,856				115,194
地域	求人倍率	0.97	0.93	0.94	0.99	0.99	0.99	1.01	1.01	1.09				0.98
	有効求職	5,202	5,036	5,140	5,018	4,722	4,704	4,688	4,508	3,958				39,018
北薩地域	有効求人	3,917	3,445	3,448	3,358	3,351	3,425	3,544	3,649	3,541				28,137
	求人倍率	0.75	0.68	0.67	0.67	0.71	0.73	0.76	0.81	0.89				0.72
	有効求職	2,582	2,547	2,626	2,534	2,377	2,327	2,303	2,202	2,052				19,498
川内	有効求人	1,912	1,585	1,559	1,548	1,569	1,626	1,686	1,712	1,626				13,197
	求人倍率	0.74	0.62	0.59	0.61	0.66	0.70	0.73	0.78	0.79				0.68
	有効求職	2,040	1,973	1,964	1,929	1,833	1,875	1,868	1,821	1,465				15,303
出水	有効求人	1,564	1,422	1,449	1,387	1,379	1,374	1,420	1,517	1,504				11,512
ш/,	求人倍率	0.77	0.72	0.74	0.72	0.75	0.73	0.76	0.83	1.03				0.75
	有効求職	580	516	550	555	512	502	517	485	441				4,217
宮之城	有効求人	441	438	440	423	403	425	438	420	411				3,428
L ~ 7%	求人倍率	0.76	0.85	0.80	0.76	0.79	0.85	0.85	0.87	0.93				0.81
	有効求職	5,509	5,374	5,243	5,063	4,966	4,891	4,753	4,459	4,121				40.258
大隅地域	有効求人	4,317	4,010	3,987	4,108	4,300	4,490	4,683	4,433	4,324				34,458
ノイドロトローが	求人倍率	0.78	0.75	0.76	0.81	0.86	0.92	0.99	1.03	1.05				0.86
	有効求職	3,736	3,622	3,479	3,388	3,356	3,302	3,181	2,936	2,726				27.000
鹿屋	有効求人	2,900	2,716	2,643	2,760	2,857	3,090	3,101	3,118	2,720				23,302
ルビュー	求人倍率	0.78	0.75	0.76	0.81	0.85	0.94	1.01	1.06	1.08				0.86
	有効求職	1,773	1,752	1,764	1,675	1,610	1,589	1,572	1,523	1,395				13,258
大隅	有効求人	1,417	1,732	1,704	1,348	1,433	1,400	1,465	1,455	1,378				11,156
人的型	求人倍率	0.80	0.74	0.76	0.80	0.89	0.88	0.93	0.96	0.99				0.84
	有効求職	4,863	4,849	4,942	4,645	4,459	4,417	4,431	4,221	3,912				36,827
南薩地域	有効求人	3,482	3,389	3,414	3,322	3,253	3,257	3,503	3,490	3,428				27,110
十川ル生・ピンス	求人倍率	0.72	0.70	0.69	0.72	0.73	0.74	0.79	0.83	0.88				0.74
	有効求職	1,806	1,791	1,885	1,756	1,705	1,579	1,553	1,500	1,422				13,575
加世田	有効求人	1,345	1,791	1,345	1,736	1,703	1,310	1,333	1,385	1,422				10,716
께르띠	求人倍率	0.74	0.73	0.71	0.75	0.76	0.83	0.90	0.92	0.96				0.79
		1,826	1,837	1,837	1,668	1,591	1,678	1,713	1,616	1,467				13,766
伊集院	有効求職 有効求人	1,130	1,102	1,113	1,127	1,081	1,078	1,713	1,183	1,150				9,091
ア未成	求人倍率	0.62	0.60	0.61	0.68	0.68	0.67	0.72	0.73	0.78				0.66
	有効求職	1,231	1,221	1,220	1,221	1,163	1,160	1,165	1,105	1,023				9,486
指宿		1,231	975	956	879	868	820	876	922	912				7,303
TE1E	有効求人		0.80		0.72			0.75						
	求人倍率	0.82 5.831		0.78 5.782	5.540	0.75 5.222	0.71 5.247	5.308	0.83 5.166	0.89 4.824				0.77 43.913
姶良地域	有効求職	4,089	5,817 4,014	4,030	4,034	4,016	4,134	4,241	4,429	4,824				32,987
如及地場	有効求人 求人倍率	0.70	0.69	0.70	0.73	0.77	0.79	0.80	0.86	0.91				0.75
	有効求職	5,045	5,036	4,980	4,760	4,486	4,489	4,552	4,440	4,106				37,788
国分	有効求人	3,599	3,534	3,530	3.542	3,548	3.627	3,723	3,922	3.870				29,025
四刀	求人倍率	0.71	0.70	0.71	0.74	0.79	0.81	0.82	0.88	0.94				0.77
		786	781	802	780	736	758	756	726	718				6,125
大口	有効求職 有効求人	490	480	500	780 492	468	758 507	756 518	507	496				3,962
<b>Д</b> П	求人倍率	0.62	0.61	0.62	0.63	0.64	0.67	0.69	0.70	0.69				0.65
		734	752	878	842	695	686	642	570	513				
熊毛地域	有効求職	585	535	560	575	581	501	494	491	506				5,799 4,322
無七地域	有効求人 求人倍率	0.80	0.71	0.64	0.68	0.84	0.73	0.77	0.86	0.99				0.75
			1,932		1,935			1,885		1,667				_
奄美地域	有効求職 有効求人	1,943 1,242	1,932	1,893 1,129	1,155	1,867 1,139	1,884 1,196	1,885	1,784 1,275	1,007				15,123 9,486
电天地域	<u> </u>	0.64	0.59	0.60	0.60	0.61	0.63	0.64	0.71	0.75				9,486
	I II Is min			39,266		35,992								
県計	有効求職	39,717	39,267 30,934	39,266	37,670	35,992	36,009	36,189 32,290	34,625 32,021	31,761				298,735
宋訂	有効求人	32,755	30,934		31,032	· ·	31,098		· ·	31,268				251,694
	求人倍率	0.82		0.79	0.82	0.85	0.86	0.89	0.92	0.98				0.84
	※地域別:安	定所の管轄区	· 万`											

鹿児島地域 ・・・鹿児島 姶良地域 ・・・国分、大口

熊毛地域 ・・・熊毛

北薩地域・・・川内、出水、宮之城 大隅地域・・・・鹿屋、大隅 奄美地域 ・・・名瀬

南薩地域・・・加世田、伊集院、指宿

#### 平成27年における労働災害発生状況(12月末速報値)

#### ~ 死傷者数は増加、死亡者数は減少 ~

平成27年における業種別労働災害発生状況(速報値)を取りまとめました。 死傷者数(休業4日以上)は前年より14人多い1,581人で、死亡者数は5人 少ない16人となっています。

業種別の死傷者数は、製造業 288 人 (対前年比-28 人)、建設業 272 人 (同+17 人)、運輸交通業 182 人 (同-21 人)、商業 197 人 (同-37 人)、保健衛生業 198 人 (同+22 人) となっています。

また、業種別の死亡者数は、製造業 2 人 (同-2 人)、建設業 5 人 (同-1 人)、運輸交通業 3 人 (同 $\pm 0$  人)、農林業 2 人 (同 $\pm 0$  人)、畜産・水産業 3 人 (同 $\pm 0$  人)、商業 1 人 (同 $\pm 0$  人) となっています。

#### 死傷者数が前年と比べて10人以上増加した業種は、

保健衛生業の 22 人 (+12.5%)、建設業の 17 人 (+6.7%)、清掃・と畜業の 13 人 (+27.7%)となっています。

#### 死傷者数を事故の型別にみると、

「墜落・転落」が最も多く334人(21.1%)、「転倒」の298人(18.8%)、「はさまれ・巻き込まれ」の188人(11.9%)、「動作の反動・無理な動作」の159人(10.1%)となっています。

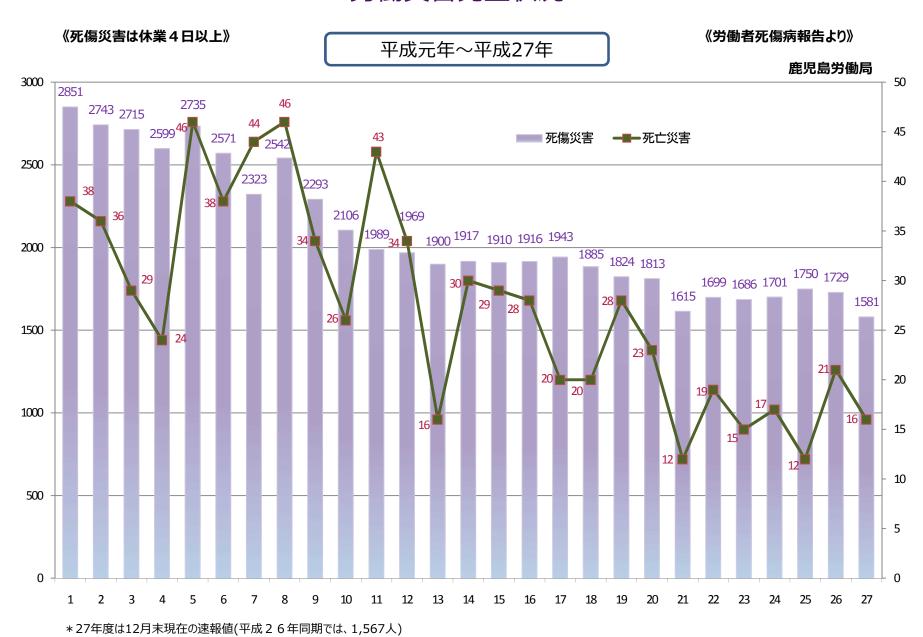
#### 全産業の死傷者数を年齢別にみると、

年齢が高くなるほどその割合が増し、中でも「50 歳代」が最も多く 451 人(28.5%)、次いで「60 歳以上」の 387 人(24.5%)、以下、「40 歳代」 の 270 人(17.1%)、「30 歳代」の 238 人(15.1%)と続き、全業種のうち、 50 歳以上の被災者の占める割合は、53%で過半数を超えています。

特に、建設業と保健衛生業で死傷者数が前年と比べ大幅に増加しています。 これから年度末の繁忙期を迎えることから、引き続き関係団体等との連携を 図るとともに、県内5つの労働基準監督署が2月に実施する建設業無災害運動 月間説明会等において、労働災害防止対策の徹底を指導することとしています。

(労働基準部健康安全課)

## 労働災害発生状況



		平成27	年	平成26	年	増	咸数	増減	(率
業種	年	死傷者数死						死傷者数	死亡者数
全	産業	1581	16	1567	21	14	-5	0.9%	-24%
1 製	造業	288	2	316	4	-28	-2	-8.9%	-50%
	1 食料品製造業	174	1	194	2	-20	-1	-10.3%	
	4 木材·木製品製造業	10		20		-10		-50.0%	
	9 窯業土石製品製造業	20		13		7		53.8%	
	11~12 金属製品製造業	12	1	20		-8	1	-40.0%	Q
	13~15 機械機具製造業	20		24		-4	***************************************	-16.7%	
	上記以外の製造業	52		45	2	7	-2	15.6%	-100%
2 鉱		3		4		-1		-25.0%	
3 建	THE CONTRACTOR	272	5	255	6		-1		<del></del>
	1 土木工事業	100	3		3			11.1%	
	2 建築工事業	148	1		3		-2		
	3 その他の建設業	24	1	20		4	1		
4 運	輸交通業	182	3		3			-10.3%	-
	1 鉄道・航空機業	7		5		2		40.0%	<u> </u>
	2 道路旅客運送業	14		23	1	-9	-1	-39.1%	A
	3 道路貨物運送業	160	3		2	-15			
	4 その他の運輸交通業	1				1	······································		
5 貨	物取扱業	18		11	1	7	-1	63.6%	-100%
	1 陸上貨物取扱業	8		4		4		100.0%	•
	2 港湾運送業	10		7	1	3	-1		-100%
6 農		81	2		2			5.2%	
	1 農業	34		33	1	1	-1		-100%
	2 林業	47	2		1	3			100%
7 畜	産・水産業	85	3		1		2		200%
8 商		197	1		1	-37		-15.8%	
- 1-3.	1 卸売業	26		39		-13		-33.3%	<del></del>
	2 小売業	145	1	172	1	-27		-15.7%	
	3 理美容業	3				-, 3		13.7 /0	· •
	4 その他の商業	23		23				0.0%	
9 余	融・広告業	15		9		6		66.7%	+
11 通		6		12		-6		-50.0%	-
	宿·研究業	19		12		7		58.3%	
	健衛生業	198		176		22		12.5%	<del>i</del>
10 pr	1 医療保健業	78		74		4		5.4%	<u> </u>
	2 社会福祉施設	113		94		19		20.2%	
	3 その他の保健衛生業	7		8		-1		-12.5%	
14 堆	客娯楽業	106		100	3		-3		-100%
1 1 154	1 旅館業	26		29	1			-10.3%	
	2 飲食店	52		49	2		- <u>1</u>	*****************	-100%
	3 その他の接客娯楽業	28		22	<del>.</del>	6		27.3%	
FERD	外の事業	111		80		31		38.8%	
	10 映画・演劇業	111		- 00		31		30.070	
	15 清掃・と 音業	60		47		12		27.7%	
	16 官公署	1		77		13		27.770	
	17 その他の事業	50		33		17		51.5%	
院 ► 华/	物運送事業(4-3・5-1)	168	3		2		1	The second secon	
	70/建込尹木(4-3・3-1)	100	3	1/9	2	-11	1	-0.1%	30%

(事故の型別)

***	順位	(事故の型別)	/A- Wh	割合
業種	2.222	事故の型	件数	1177.5.07
	1	墜落・転落	334	21.1%
	2	転倒	298	18.8%
全産業	3	はさまれ・巻き込まれ	188	11.9%
	4	動作の反動・無理な動作	159	10.1%
	5	切れ・こすれ	118	7.5%
	1	転倒	60	20.8%
	2	はさまれ・巻き込まれ	57	19.8%
製造業	3	切れ・こすれ	36	12.5%
	4	墜落·転落	35	12.2%
	5	動作の反動・無理な動作	26	9.0%
	1	墜落·転落	108	39.7%
	2	はさまれ・巻き込まれ	36	13.2%
7-th = n. W4	3	飛来・落下	21	7.7%
建設業	3	切れ・こすれ	21	7.7%
	5	転倒	18	6.6%
	5	激突	15	5.5%
	1	墜落·転落	55	32.7%
	2	はさまれ・巻き込まれ	21	12.5%
陸上貨物	3	激突	20	11.9%
運送事業	4	交通事故(道路)	16	9.5%
	4	動作の反動・無理な動作	16	9.5%
	1	切れ・こすれ	14	29.8%
		激突され	10	21.3%
	2 3	飛来・落下	5	10.6%
林業	4		3	6.4%
	4	室/A・転/A   転倒	3	6.4%
	4	動作の反動・無理な動作	3	6.4%
	11	転倒 蛛体 + ***	189	29.0%
~~~	2	墜落・転落	101	15.5%
第三次産業	3	動作の反動・無理な動作	100	15.3%
	4	交通事故(道路)	59	9.0%
	5	はさまれ・巻き込まれ	49	7.5%
	1	転倒	50	34.5%
	2	交通事故(道路)	23	15.9%
小売業	3	墜落・転落	21	14.5%
	4	はさまれ・巻き込まれ	13	9.0%
	5	動作の反動・無理な動作	10	6.9%
	1	動作の反動・無理な動作	36	31.9%
ᄊᄼᇶᇸ	2	転倒	34	30.1%
社会福祉施設	3	墜落・転落	15	13.3%
加色声文	4	交通事故(道路)	9	8.0%
	5	はさまれ・巻き込まれ	5	4.4%
	1	切れ・こすれ	14	26.9%
	2	転倒	12	23.1%
	2	高温・低温の物との接触	12	23.1%
飲食店	4	はさまれ・巻き込まれ	4	7.7%
	5	墜落・転落	3	5.8%
	5	動作の反動・無理な動作	3	5.8%
	J	割TFの以割・無性な割TF	3	3.0%

① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込日数が4日以上の災害によるもので、死亡者数を含みます。

		( <b>b</b> + + > = + )		資料3
		(年齢別)	鹿	児島労働局
	業種	年龄	件数	割合
		~19歳	34	2.2%
		20歳~29歳	201	12.7%
	全産業	30歳~39歳	238	15.1%
	土性未	40歳~49歳	270	17.1%
		50歳~59歳	451	28.5%
		60歳~	387	24.5%
		~19歳	3	1.0%
		20歳~29歳	41	14.2%
9	製造業	30歳~39歳	49	17.0%
•	REX	40歳~49歳	41	14.2%
		50歳~59歳	83	28.8%
		60歳~	71	24.7%
		~19歳	5	1.8%
		20歳~29歳	32	11.8%
3	建設業	30歳~39歳	36	13.2%
· ·	CHAR	40歳~49歳	40	14.7%
		50歳~59歳	82	30.1%
		60歳~	77	28.3%
		~19歳	4	2.4%
		20歳~29歳	9	5.4%
	上貨物	30歳~39歳	30	17.9%
連	送事業	40歳~49歳	47	28.0%
		50歳~59歳	55	32.7%
		60歳~	23	13.7%
		~19歳	3	6.4%
		20歳~29歳	8	17.0%
	林業	30歳~39歳	12	25.5%
		40歳~49歳	6	12.8%
		50歳~59歳	11	23.4%
		60歳~	7	14.9%
		~19歳	16	2.5%
		20歳~29歳	84	12.9%
第	三次産業	30歳~39歳	90	13.8%
		40歳~49歳	114	17.5%
		50歳~59歳	174	26.7%
		60歳~	174	26.7%
		~19歳	5	3.4%
		20歳~29歳	23	15.9%
	小売業	30歳~39歳	18	12.4%
		40歳~49歳	23	15.9%
		50歳~59歳	36	24.8%
		60歳~	40	27.6%
	1	~19歳	0 8	0.0% 7.1%
	なる信も	20歳~29歳 30歳~39歳	19	16.8%
	社会福祉施設	40歳~49歳		17.7%
	ルビロ文		20	
		50歳~59歳 60歳~	30 36	26.5% 31.9%
		00歳~ ~19歳	8	15.4%
		~19歳 20歳~29歳	11	21.2%
	V22000 1040 10700	30歳~39歳	6	11.5%
	飲食店	40歳~49歳	9	17.3%
		50歳~59歳	11	21.2%
	-	60歳~	7	13.5%
		JOIM -	/	13.370

② 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

## 平成27年 死亡災害事例(平成27年12月31日現在)

鹿児島労働局

								底元 局力 倒 问
番号	発生年月	業 種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成27年 1月	土木工事業	作業員	男	67	激突され	立木等	道路改築工事現場の皆伐作業において、チェンソーを用いて杉 (胸高直径31cm、樹高19.2m)の伐木を行っていたと ころ、当該伐木が近傍で別の杉の玉切り作業を行っていた被災者 の背面に激突したもの。
2	平成27年 2月	非鉄金属製造業	鋳物工	男	26	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の一般 動力機械	労働者 4 名が鋳型ラインのジャケットウェート移載装置の爪開閉センサーの調整作業中、被災者が同僚 A に爪の開閉と爪フレームの上下操作を指示したところ、爪フレームが上昇し、被災者が上昇した爪フレームと当該機械の上部フレームの間に挟まれ、頭蓋骨骨折及び頸椎骨折により死亡したもの。
3	平成27年 2月	水産業	餌製造工	男	20	はさまれ・ 巻き込まれ	混合器• 粉砕器	養殖カンパチのえさの原料(鯖等を30cm×60cm×10cmに氷漬けしたもの)を砕くクラッシャーの作業台に乗り、原料を投入していた被災者が、クラッシャーの回転刃に巻き込まれたもの。
4	平成27年 2月	道路貨物運送業	運転手	男	61	その他	起因物なし	北大阪トラックターミナル内で仮眠を取っていたところ、14時3 0分頃に同僚が異変に気づき救急搬送された。「心筋梗塞」と診断され、同日16時12分に死亡した。
5	平成27年 4月	木材伐出業	伐木造材 作業員	男	57	激突され	立木等	伐木作業中、労働者がチェーンソーで切り倒した杉(高さ約21m、胸高直径約33cm)が想定と異なる方向に倒れ、別の立木の伐木作業をしていた被災者に当たり、被災者がその杉の下敷きとなり被災したもの。
6	平成27年 5月	新聞販売業	新聞配達員	男	67	交通事故(道路)	乗用車、バス、 バイク	被災者がバイクで新聞配達を行っていたところ、信号機の無い交差点で相手方自動車と出合い頭に衝突したため電柱に頭部を強打し、死亡したもの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
7	平成27年 5月	土木工事業	工程管理員	男	63	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の一般 動力機械	道路舗装工事現場において、被災者が路肩のはつり状況を 写真撮影していたところ、バックしてきたロードスイーパーに轢か れ、被災したもの。
8	平成27年 6月	道路貨物運送業	貨物自動車 運転者	男	23	墜落·転落	フォークリフト	被災者がフォークリフトを運転して、トレーラーから卸すにあたり、トレーラーに取り付けられた道板付近で脱輪し、フォークリフトが進行方向の左側に倒れ、共に転落した被災者の首付近がフォークリフトのヘッドガード付近の下敷きとなり被災したものである。
9	平成27年 7月	食料品製造業	作業員	男	57	高温・低温の物 との接触	高温・ 低温環境	被災者が工場内で精麦・飼料製造の補助作業を行っていたところ、熱中症とみられる意識障害(敗血症性ショック)を起こして、6日後の7月15日に死亡したもの。当日の作業は7時50分から12時まで工場内において精麦・飼料製造の補助作業を行い、12時から1時間休憩後、工場内で引き続き、午前中の作業を行っていた。災害発生時の工場内温度は約38度。湿度は不明。
10	平成27年 8月	その他の建設業	作業員	男	55	感電	送配電線等	冷凍機の設置工事において、被災者が配線作業中、電圧がかかっている配線をケーブルカッターで切断したところ、地絡を起こし、感電死したもの。
11	平成27年 8月	建築工事業	作業員	男	63	飛来、落下	屋根、はり、	SRC造パチンコ店(6階建)解体工事現場において、鉄骨切断機(解体用機械)を用いて2階床スラブの大梁(H鋼)と小梁(H鋼)を解体作業中、大梁を鉄骨切断機でつかみ回転させたところ、その反動で当該大梁に取り付けられていた小梁(長さ6.77m、高さ44cm、幅20cm、重さ約500kg)が落下し、被災者に当たったもの。

番号	発生年月	業 種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
12	平成27年 10月	道路貨物運送業	運転手	男	57	激突され	人力運搬機	鹿児島市中央卸売市場内において、牛乳等を積み込んだロールボックスパレットをトラック荷台から保冷コンテナに人力で移す作業中、被災者がトラック後部のパワーゲートの端と保冷コンテナの入口との間の隙間に鋼製の道板を敷いてロールボックスパレットを引いていたところ、掛け渡していた道板が外れ、当該隙間に落ち、倒れたため被災者がその下敷きとなったもの。
13	平成27年 11月	林業	作業員	男	59	崩壊・倒壊	立木等	被災者が高さ約15m、胸高直径約28cmの檜をチェーンソーで伐倒したところ、被災者の背後に立っていた高さ約13m、胸高直径約17cmの檜が蔓で繋がっていたため、伐倒した檜に引っ張られて根元から倒れ、激突したもの。午前11時45分頃、探しに行った同僚が檜の下敷きとなった被災者を発見したもの。
14	平成27年 11月	土木工事業	作業員	男	68	激突され	立木等	水路(深さ約3m)拡幅工事において、水路を跨いで反対側の道路上に伐倒した木(樹高約22m)が道路の端から水路に5.8m突き出した状態となったことから下請作業員がチェーンソーで先端から5.5mの位置で伐倒木を切断したところ、被災者が滑動した伐倒木に激突され、そのまま伐倒木とともに水路に転落し、転落した伐倒木が水路の底でバウンドし、再度、被災者に激突したもの。
15	平成27年 11月	漁業	作業員	男	24	溺れ	水	当日午前5時半頃、被災者を乗せた19トンの漁船が内 之浦漁港を出航し、午前6時頃から定置網に船を固定する 作業を開始し、その後、船長が被災者が船内外にいないことに 気づいたので船内外を捜索したところ、約6時間後、被災者が 海底で発見された(溺死)。
16	平成27年 12月	畜産業	運転者	男	52	激突され	車両系建設機械	被災者は、トラクター・ショベルのバケットに水300リットル入りのタンクと噴霧機械が入った金属枠を載せて、これをトラックに積み込むためにバケットを持ち上げたところ、機体が前輪を支点にして前のめりになったため、バケットが機体から外れ、その反動で後輪を支点にして前輪が浮き上がり、さらに前輪を支点にして後輪が浮き上がる動作を繰り返す中、被災者が運転席から投げ出され、機体左前輪の下敷きとなったもの

## 計画の全体目標

- ○労働災害による**死亡者数を各年15人以下とする**
- ○平成29年までに、労働災害による死傷者数(休業4日以上) を15%以上減少(H24年比)

※計画の目標は、新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)において名目3%、実質2%を上回る成長を前提として2020年までに実現すべき成果目標の1つとして掲げている平成20年と比較して「労働災害発生件数を3割減」を踏まえたものである。

## 第12次労働災害防止計画のポイント

## 労働災害、業務上疾病発生状況の変化に合わせた対策の重点化

## 重点業種対策

## 労働災害件数減少重点業種

第三次産業対策

【目標】

小 売業 死傷者数を20%以上減少 社会福祉 死傷者数を10%以上減少 飲 食店 死傷者数を20%以上減少 陸上貨物運送事業対策 【目標】死傷者数を10%以上減少

## 重篤災害件数減少重点業種

建設業対策

【目標】死亡者数を半減

製造業対策

【目標】死亡者数を半減

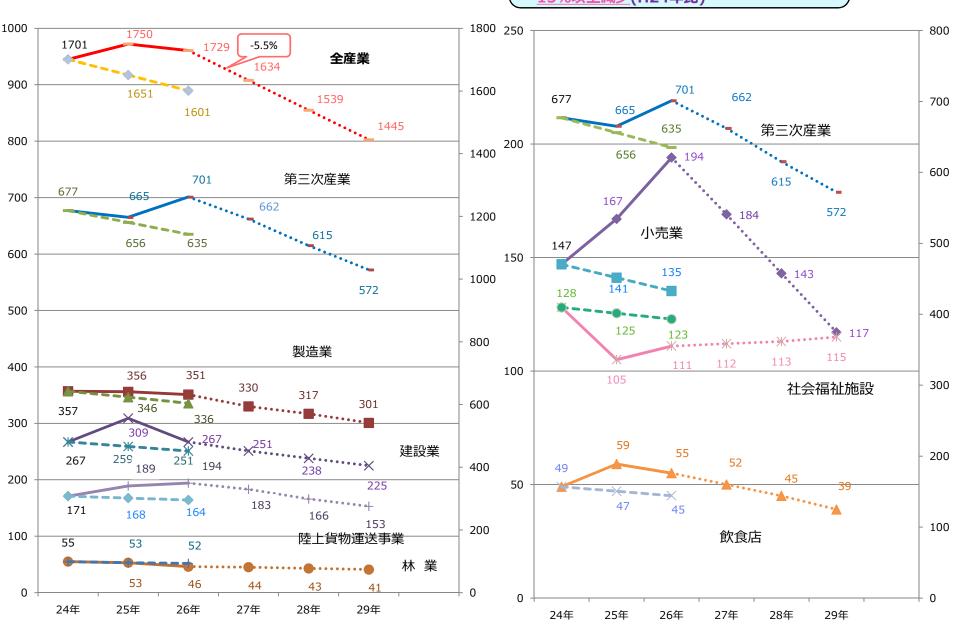
林業対策

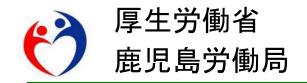
【目標】死亡者数を半減

## 第12次労働災害防止計画の推進結果(死傷災害) 平成25~平成29年度 鹿児島労働局

《目標値》

- ○死亡者数を各年15人以下とする
- ○平成29年までに、死傷者数(休業4日以上)を15%以上減少(H24年比)





## **Press Release**

平成28年1月29日 【照会先】

鹿児島労働局労働基準部監督課

監督課長 綿貫 直

主任監察監督官 水溜 栄作

電話 099-223-8277

報道関係者各位

#### 「医療分野の雇用の質の向上のための研修会」の開催について ~ 鹿児島市と鹿屋市で開催 ~

現在、医療従事者の勤務環境の改善が喫緊の課題となっています。

このため、鹿児島労働局(局長 岩崎 修)では、勤務環境改善に係る取組を行う 医療機関に対する支援を効果的に実施するため、昨年度から「医療労務管理相談コーナー事業」を鹿児島県社会保険労務士会に委託して、医療機関等に対する個別支援、相談対応等を行っています。

今般、この事業を通して医療機関等から収集した事例等を基に「医療分野の雇用の 質の向上のための研修会」を以下のとおり開催することに致しました。

#### 1 日時及び場所

< 鹿屋市会場>

日時:2月3日(水)14時00分~16時30分

場所: 鹿屋市医師会館 会議室(鹿屋市西原三丁目7-39)

<鹿児島市会場>

日時: 2月6日(土) 13時30分~16時00分

場所: 鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂(鹿児島市城山町7番2号)

- 2 対 象 県内の病院、一定以上の有床診療所
- 3 内容
- (1) 講演
  - ①「医療機関における労務管理(勤務環境改善マネジメントシステム)について」 特定社会保険労務士 石神 啓介
  - ②「医療機関におけるメンタルヘルス対策 (ストレスチェック) について」 社会保険労務士 勝田 正志
- (2) 質疑応答
- 4 その他
  - (1) 定員は鹿屋市会場80名、鹿児島市会場200名を予定していますが、若干の 余裕がありますので、上記2の対象以外の医療機関の方の参加、当日の受付参加 (定員未満の場合)も可能です。参加申込み方法等については別添リーフレット を参照ください。
  - (2) 鹿児島市会場は駐車台数に制限があるため、当日は出来るだけ、公共交通機関等を利用していただきますようお願いします。

主催: 鹿児島労働局 共催: 鹿児島県社会保険労務士会

## 医療分野の「雇用の質」向上のための研修会

~働きやすく、働きがいのある職場づくりのために~

受講料無料

国民の皆様が将来にわたり質の高い医療サービスを受けるためには、医療分野の勤務環境の改善により、医療に携わる人材の定着・育成を図ることが必要不可欠であり、特に、長時間労働や当直・夜勤制勤務など厳しい勤務環境にある医師や看護師等が健康で安心して働くことができる環境を作ることが喫緊の課題になっています。

鹿児島労働局では、医療従事者の勤務環境改善に係る取組を行う医療機関に対する支援を効果的に実施するため、「医療労務管理相談コーナー事業」を鹿児島県社会保険労務士会に委託して、医療機関等に対する個別支援、相談対応等を行っています。

この度、この事業を通して医療機関等から収集した事例等を基に「医療分野の雇用の質の向上のための研修会」を鹿児島市、鹿屋市の2会場において開催することに致しました。

研修会のプログラムは、次のとおりですので、是非、ご参加下さい。

## Oプログラム

(約2時間30分を予定)

講演1 医療機関における労務管理(勤務環境改善マネジメントシステム)について 社会保険労務士ほりえ事務所 特定社会保険労務士 石神啓介 講演2 医療機関におけるメンタルヘルス対策(ストレスチェック)について 勝田社会保険労務士事務所 社会保険労務士 勝田正志 ※最後に質疑応答の時間もあります。

## 〇日時•場所

#### <鹿屋市会場>

(日時) 平成28年2月3日(水) 14:00 ~ 16:30

(場所) 鹿屋市医師会館 会議室 (定員:80名)

鹿屋市西原三丁目7-39 TEL0994-43-4757

#### <鹿児島市会場>

(日時) 平成28年2月6日(土) 13:30 ~ 16:00

(場所) 鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂 (定員:200名)

鹿児島市城山町7番2号 TEL099-222-5100

## 参加の申し込みは裏面をご覧下さい

## FAX送信票 099-223-0575

#### 医療分野の雇用の質の向上のための研修会出席票

平成 年 月 日

出席会場	( ) 2月3日(水) 鹿屋市会場
(〇記載)	( ) 2月6日(土) 鹿児島市会場
事業場名	
所 在 地	(電 話 - ) (FAX - )
出席者	
職氏名	

鹿児島市会場:平成28年2月5日(金)

※ 会場の関係から、参加希望者が定員数に達した場合には参加申込みをお断りする場合があります ことご承知おき願います。

照 会 先 鹿児島労働局労働基準部監督課 TEL099-223-8277 / FAX099-223-0575 鹿児島県社会保険労務士会 TEL099-257-4827 / FAX099-257-2219

## 「大学生等就職面接会 in 鹿児島」を 2月22日(月)に開催します

平成28年3月新規大学等卒業予定者の就職内定状況は、12月末現在において、大学生の就職内定率が74.1%、短大生の就職内定率が76.1%と、高水準で推移しており、緩やかな景気の回復基調により、大学生等をとりまく就職環境は順調に回復しています。

そのような中、今も内定を得られていない学生が一定数おり、その学生 の多くが鹿児島県内での就職を希望している一方、県内求人については、 応募者が思うように集まらず、採用活動に苦慮されている企業も少なくな い状況です。

このようなことから、行政機関・学校・産業界で構成する「鹿児島新卒者等就職・採用応援本部」(本部長:鹿児島労働局長)の主催により、現在当局で実施中の「未内定就活生の集中支援2016」の支援策の一環として、学生と企業との出会いの場を提供するため「大学生等就職面接会in 鹿児島」を下記のとおり開催します。

- 〇 開催日時 平成 28 年 2 月 22 日 (月) 13 時 00 分から 16 時 30 分まで
- 〇 開催場所 鹿児島サンロイヤルホテル (鹿児島市)

(職業安定部地方訓練受講者支援室)

各社の人事担当者へ

直接アピールできる絶好のチャンス!

この機会をお見逃しなく

是非ご参加ください!

2016 月 13:00~16:30 (受付12:00~)

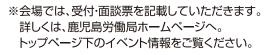
鹿児島サンロイヤルホテル

鹿児島市与次郎1-8-10



# 就職面接急應息

## 履屬學不與







平成28年3月卒業予定の大学院・大学・短期大学・高等専門学校・専修(専門)学校・公共職業能力開発施設等の学生並びにこれらの卒業後3年以内の既卒者

50社参加予定

●上記対象者を新卒の正社員として採用する計画があり、採用後の 勤務地が鹿児島県内の予定である企業。卒業後3年以内の方も 新卒扱いで応募できることが要件となります。

●参加企業の情報は、2月10日頃より鹿児島労働局ホームページに掲載予定です。トップページ下のイベント情報をご覧ください。 http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/





お問合せ先



鹿児島労働局職業安定部 地方訓練受講者支援室 TEL099-219-8711

主催:鹿児島新卒者等就職・採用応援本部(鹿児島労働局・ハローワーク・鹿児島県等)

## 「大学生等就職面接会in鹿児島」参加申込書 申込期限 1月25日(月)まで



事業所名	
所 在 地	<del> </del>
担当者名	
電話番号 FAX番号	
FAX番号	I .

採用予定職種	求人数	求人受理安定所名	求人番号
	人		
	人		
	人		

新卒者の採用実績・定着状況	25年度入社	26年度入社	27年度入社
採用人数			
うち在職人数			

<sup>※</sup>上記の「新卒者の採用実績・定着状況」における新卒者とは、大学院・大学・短期大学・高等専門学校・専修(専門)学校・公共職業能力開発施設等の新卒者並びにこれらの卒業後3年以内の既卒者とし、各年度ごとに正社員として採用した人数及び平成28年1月1日現在の在職人数を記載して下さい。記載いただいた新卒者の採用実績・定着状況は面接会時に公開します。

#### <参加申込を希望される企業のご担当者様へ>

- ●参加申込に当たっては、事前に企業の所在地を管轄するハローワークに、大卒等求人(新規大学等卒業予定者・既卒3年以内の求職者向け)を提出していただく必要がございます。求人提出の手続きについては、同ハローワークにてご確認ください。下記に連絡先を記載しております。
  - ※既卒3年以内の方も新卒扱いとして採用予定があることが参加条件になります。
- ●申込先は、鹿児島県内企業は管轄安定所へ、県外企業は、職業安定部地方訓練受講者支援室となります。
- ●必ず、大卒等求人を提出後に参加申込をしてください。
- ●参加企業の選定については、参加申込多数の場合は、ユースエール認定企業・若者応援宣言企業を優先し、その後、抽選にて決定させていただきます。ご参加いただけない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
  - ※ユースエール認定企業・若者応援宣言企業の詳細は、下記の連絡先にお問い合わせください。
- ●参加の可否結果については2月10日(水)までに、各企業あてに郵送にて連絡いたします。
- ●抽選にて参加できない企業につきましては、求職者に申込時の求人情報を提供いたしますので、あらかじめご了承ください。

#### 鹿児島県内のハローワーク及び職業安定部地方訓練受講者支援室の連絡先

ハローワーク	FAX番号	電話番号
<b>鹿児島</b> (ヤングハローワーク)	099-224-3250	099-224-3433
川内	0996-22-1607	0996-22-8609
鹿 屋	0994-44-9546	0994-42-4135
国 分	0995-46-5076	0995-45-5311
加世田	0993-53-5134	0993-53-5111

ハローワーク	FAX 番号	電話番号
伊集院	099-273-2002	099-273-3161
大隅	099-482-2141	099-482-1265
出水	0996-63-1308	0996-62-0685
名瀬	0997-52-4602	0997-52-4611
指宿	0993-22-2437	0993-22-4135